

ベビーカーには 寿命があります！

**寿命を過ぎたベビーカーを使用し続けると、
思わぬ事故が発生する場合があります。**

寿命は、使用状況や保管状態により異なりますが、新規ご購入時から使用対象月齢期間までが目安です。
使用対象月齢期間を超えてのご使用は、材料の経年劣化により、徐々に強度の低下や各部のガタツキが大きくなることで、
本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。

特に、2人目のお子さま、他人への譲渡等によるご使用は寿命を超える場合がありますのでご注意ください。

また、使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。

**安全で安心にお使いいただくため、
寿命内でも日頃からのご注意と点検をお願いします。**

安全のため、日常の自主点検をお忘れなく

✓ check 1

締結部にゆるみが
生じていないか

✓ check 2

開閉ロックの動きが
悪くなっていないか

✓ check 3

本体や部品に変形・
割れ・ヒビが生じて
いないか



ご使用上の注意

- ・ご使用前に必ず「取扱説明書」を読んで正しく、安全に使用してください。
- ・使用対象年齢期間でも、長距離走行や走行路面、保管状態によっては、寿命が短くなります。
- ・直射日光をさけ、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に保管してください。
- ・部品の亀裂や全体のガタツキが大きくなった等の異常を感じられた場合は、下記までご連絡ください。

販売元
株式会社 西松屋チェーン
〒671-0218 兵庫県姫路市飾東町庄266-1

【お客様相談窓口】
フリーダイヤル 0120-7-24028
受付時間 10:00～18:00
(土・日・祝日・弊社所定休日を除く)

ベビーカーを**正しく**使っておでかけしましょう！

この度は、西松屋チェーンの製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ベビーカーは赤ちゃんと一緒に楽しく快適におでかけするためにとても便利な製品です。

しかし、使い方によっては、「予期せぬお子さまのけがやベビーカーの破損」につながることもあります。

使用前に必ず「取扱説明書」を読んで正しく、安全に使用してください。

1 すべてのシートベルトを必ず締めて使用してください。

肩・腰バックルを股バックルに「カチッ」と音がするまで挿入した後、ベルトを強く引っ張り、確実に取り付けられていることを確認してください。



2 お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。

お子さまは月齢が高くなるにつれ周囲への好奇心が旺盛になります。力も強くなり自分でシートベルトを外す恐れがありますので、常にお子さまの状態を確認してください。



3 2人乗りは禁止です。

ベビーカーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外の所に乗せないでください。



4 お子さまを乗せたまま、ベビーカーを持ち上げないでください。

手がすべったり、フロントガードが外れたりバランスを崩し、転倒する恐れがあります。



5 お子さまを乗せているとき、カゴ以外のところに荷物をのせたり、つるしたりしないでください。

特にハンドルにつると不安定になり、ベビーカーが転倒する恐れがあります。



6 エスカレーターでの使用は禁止です。

階段や大きな段差のあるところ、また砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路でも転倒の恐れがあるため、使用しないでください。



7 ベビーカーの開閉の際には、そばにお子さまがいないことを確認してください。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかる恐れがあります。

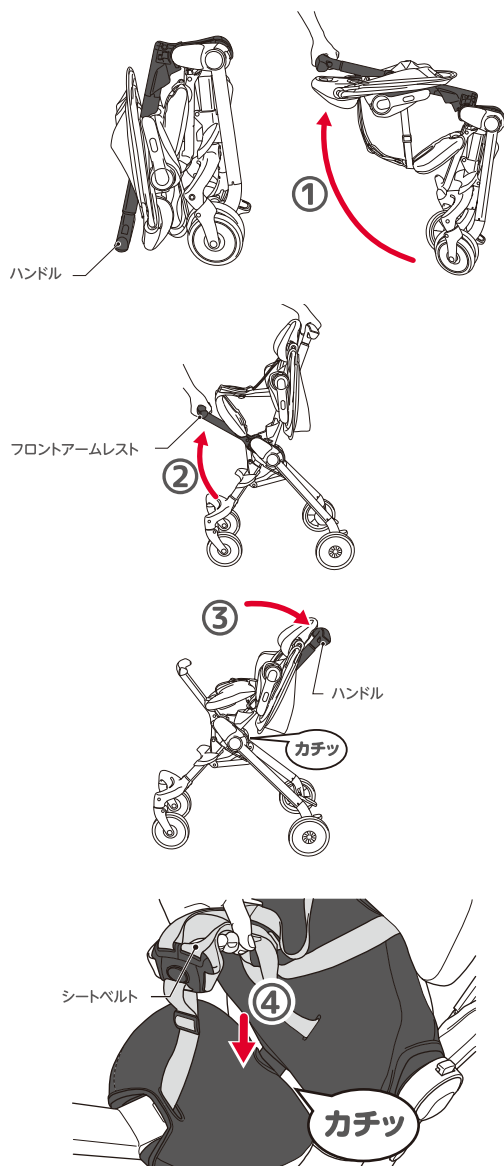


8 ベビーカー本体には、お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。

破損・故障や思わぬ事故につながる恐れがあります。

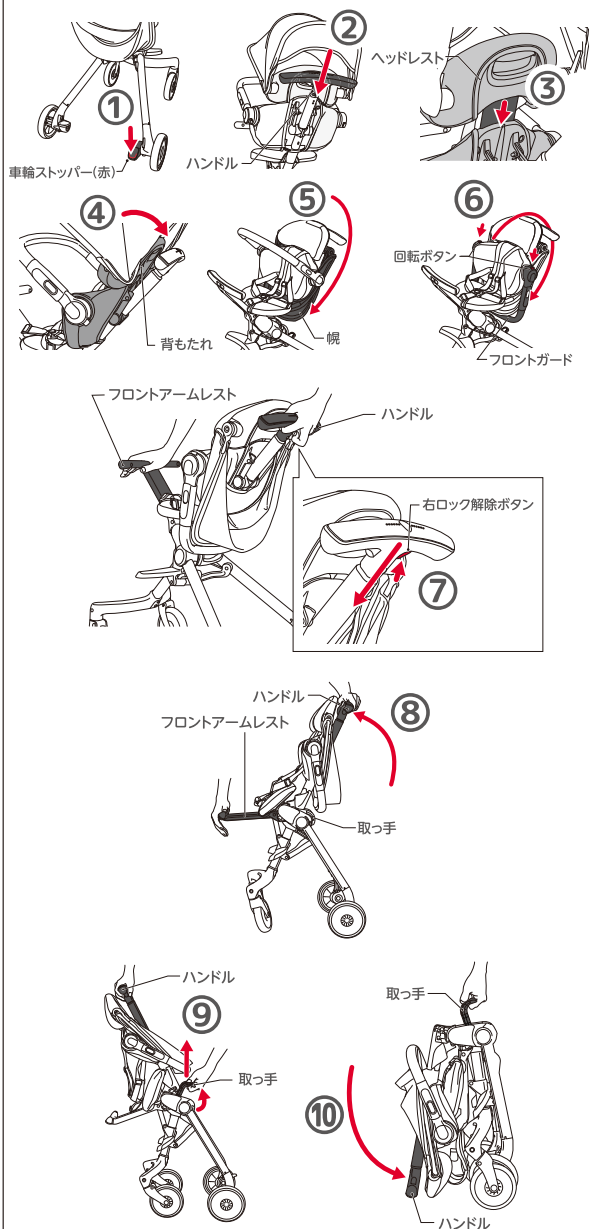


バギーの開きかた



開きかた動画

折りたたみ



折りたたみかた動画



シンコンパクトバギー ガンマ Y

取扱説明書/保証書

このたびはお買い上げいただき、
ありがとうございます。

- ご使用前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。
- 本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が発揮できないだけでなく大変危険です。

開封後、各部品が揃っていることを確認してください。

- ・ バギー本体 1
- ・ フロントガード 1

はじめに

ご使用前に	1
安全にご使用いただくために	1
各部のなまえ	4

バギーの使いかた

バギーの開きかた	5
ハンドルの高さ調節方法	7
車輪ストッパーの使いかた	7
シートベルト(股ベルト・腰ベルト・肩ベルト)の使いかた	8
シートベルトの調節のしかた	8
背もたれ、ヘッドレストの使いかた	9
フロントガードの使いかた	10
幌の使いかた	11
折りたたみかた	11

その他

日常のお手入れ	14
保管のしかた	14
廃棄方法について	14
バギーの「標準使用期間」について	裏表紙
保証書	裏表紙

ご使用の前に

- この製品は、一般家庭でお子さまを乗せ、外気浴、買い物などに使用するための1人乗り乳母車(バギー)です。
- 使用の範囲：生後12ヶ月～36ヶ月までで、体重15kg以内(お子さまの発育により個人差があります)
※生後12ヶ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、12ヶ月経過したお子さまを示します。
- 望ましい連続使用時間：1時間以内(お子さまが疲れない範囲)
- ひとりでお座りができないお子さまは使用できません。
- ご使用の前に、裏表紙「保証書」に次の項目を記入してください。
 - ①ロットNo.(右後脚のパイプに貼ってあるシールに記載されています。)
 - ②お客様のお名前・ご住所・電話番号
 - ③販売店名
- 領収書(レシート)、または保証書シール、またはお買上票を本書といっしょに保管してください。

安全にご使用いただくために

- 製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を未然に防止するためのものです。ここに記載した内容を見逃した場合、お子さまおよびご使用者が重大な損害を被るおそれがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。

表 示	表 示 の 内 容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の可能性があります。

※お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し説明しています。

- ここに表示した注意事項は、取り扱いを誤ると、お子さまおよびご使用者への危害が発生したり、物的損害の発生が予想される事項を危害・損害の大きさ、切迫度により「警告」・「注意」の2つに区分して示してあります。安全のため必ずお守りください。

	警告 / 注意をうながす内容があることを告げるものです。
	禁止行為であることを告げるものです。
お願い	補足の説明を示すものです。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

お子さまが落ちるおそれがあります。

- すべてのシートベルトを「カチッ」と音がするまで確実に締めて使用してください。
- 肩ベルトは、お子さまの体形にあわせて調整してください。長すぎると首に巻きつく危険があります。



- お子さまをバギーの中で立たせないでください。

- お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がるおそれがあります。目を離さず、十分注意してご使用ください。





警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

お子さまが落ちたりバギーが折りたたまれたりするおそれがあります。

- ロックが確実にかかっていること(バギーが完全に開いた状態であるか)を確認してから使用してください。ハンドルを持って前輪を浮かし軽くゆするなどして確実にロックしているか確認してください。



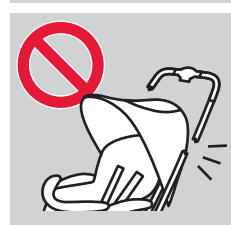
- お子さまを乗せたまま、フロントガードを持つなどしてバギーを持ち上げないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりバランスを崩し、転倒するおそれがあります。



- 階段、エスカレーター、大きな段差のあるところ、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。



- 破損や異常が発生した場合は使用を中止し、当社までご連絡ください。



バギーが転倒してお子さまが落ちるおそれがあります。

- お子さまを乗せているとき、カゴ以外のところに荷物をのせたり、つるしたりしないでください。特にハンドルにつると不安定になり、バギーが転倒するおそれがあります。



- ご使用中にハンドルによりかかったり、荷物をつるしたりするなどハンドルへの過度の荷重はかけないでください。また、バギーに大人が腰かけたり、過度の荷重をかけたりすると破損、故障の原因になります。



- お子さまを乗せることを目的としたボードなどは取り付けしないでください。バギーの操作に悪影響を与え転倒するおそれがあります。また、過度の荷重がかかりバギーが破損します。



- バギーに同時に2人以上のお子さまを乗せたり、お子さまをシート以外の所に乗せたりしないでください。



- お子さまが乗り降りする際は、バギーが不安定になり転倒するおそれがありますのでしっかりと支えてください。また、必ず車輪ストッパーを左右ともにロックし、バギーが動かないことを確認してください。



- お子さまにひとりでバギーの乗り降りをさせないでください。転倒したり落ちたりするおそれがあります。

- 排水溝のふた(グレーチング)や踏切、路面の溝など、溝がある路面を通るときは、溝に車輪をとられたりはさまったりするおそれがあります。注意しながらゆっくり進んでください。車輪がはさまったときは、そのまま無理に走行して車輪を抜こうとせずに、フレームを持って、車輪を引き抜いてください。
- 凹凸や溝がある路面では、車輪をとられたり、はさまったり、つまずいたりしないよう注意しながらゆっくり進んでください。

バギーが動き出したり転倒したりするおそれがあります。

- 車輪ストッパーを過信しないでください。車輪ストッパーをかけていても、動き出したり転倒したりするおそれがあります。



- お子さまを乗せたまま、バギーから離れないでください。

- バギーは空車であっても、坂の途中、車道に近い歩道など危険な場所に放置しないでください。





警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

指をはさむなど思わぬケガをするおそれがあります。

- バギーの開閉、リクライニング、ヘッドレストの操作時には、他人や小さいお子さまを近づけずに行ってください。指をはさんだりするおそれがあります。
- 幌を開いたり折りたたんだりするときには、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- お子さまにバギーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

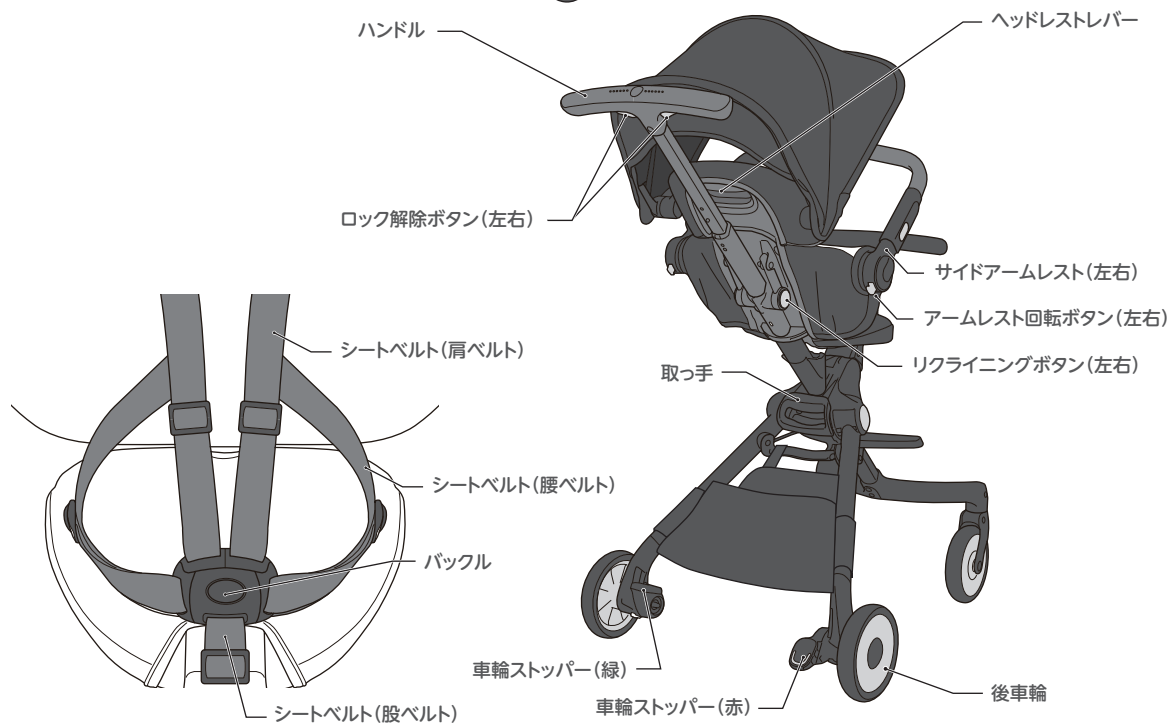


注意

誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の可能性もあります。

- お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。目的以外の使用では破損などのおそれがあります。
- お子さまの乗車時はもちろん空車であってもフロントガードを持って持ち運ばないでください。バギーが急に折りたたまれたり、フロントガードがはずれたり、手がすべって落下するおそれがあります。
- フロントガードを引っばって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損のおそれがあります。
- フロントガードには過度の力を加えないでください。
- お子さまを乗せたとき、シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を締め、ベルトにゆりみがないことを確認してください。お子さまが抜け出したり、落下したりするおそれがあります。
- 幌は日よけの役割をしますが、完全に日差しを遮るものではありません。無理に引っばったり広げたりすると、生地がやぶれたり幌が破損したりするおそれがあります。
- バギーを押すときは走らないでください。走るとキャスターの動きが悪くなったり、転倒などの事故につながるおそれがあります。
- 出荷時に取り付けられている部品、および当社指定の部品以外は使用しないでください。破損・故障や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- カゴには5kg以上の荷物を入れしないでください。破損の原因となります。
- 段差を乗り越える場合は、前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。段差を無理に乗り越えようとすると、前輪に衝撃が加わり、破損・故障の原因となります。
- 折りたたんだ状態で持ち運ぶ場合は、取っ手以外は持たないでください。フロントガード、幌を持って持ち運ぶと、フロントガード、幌の破損・故障の原因となります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。バギーだけでなくご使用者も転倒するおそれがあります。
- 風の強いときには使用しないでください。勝手に動き出したり、転倒したりするおそれがあります。
- 雷のときは使用しないでください。落雷のおそれがあります。
- 夏季の晴天日中などは、路面の影響によりバギー内の温度が高くなるため、長時間の使用は避けてください。
- 火の近くや夏季の車内など高温になる場所での放置、保管は避けてください。故障や変形の原因となります。
- バギー本体の上に荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- 製品の改造や不当な修理をしないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ご使用の前に、ネジやナットなどにゆりみがないか確認してください。ゆりみやきしみがある場合は使用を中止し、必ず当社へご連絡ください。部品に異常なゆりみやきしみがあつたり、部品の欠落、車輪の回転が円滑でない場合は、重大な事故につながるおそれがあります。
- 長時間の使用禁止
長時間連続してのご使用は、お子さまの負担となります。ご使用は1時間以内で休憩をとるなどしてください。
- バスの中では使用しないでください。本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 本製品は、電車などの移動交通機関の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車などの中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ず車輪ストッパーをかけて、十分注意してご使用ください。
- 電車などのご利用時に、無理な乗り降りはしないでください。バギーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があり、重大な事故につながるおそれがあります。

各部のなまえ



バギーの開きかた

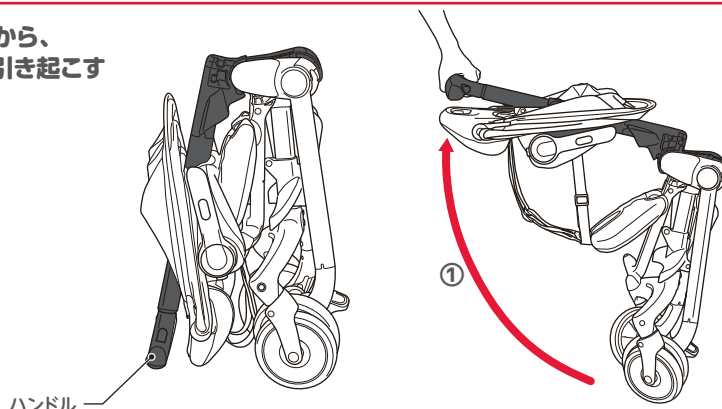


- ・バギーを開くときは、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさむおそれがあります。
- ・お子さまにバギーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

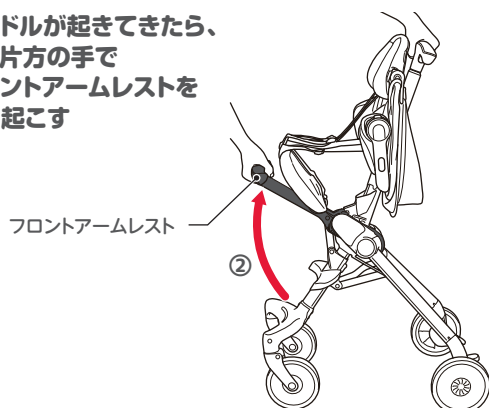


- ・何かに引っかかっていたり、はさみ込まれていたりする感じがある場合には、一度たたんで(バギーを閉じて)原因を確認してください。無理に開くとバギーが破損するおそれがあります。

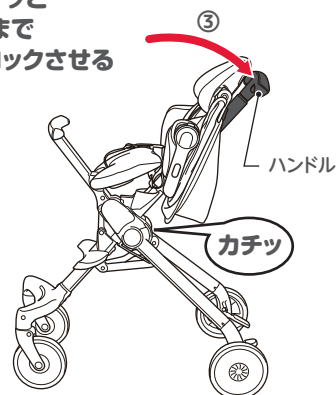
① バギーを立たせた状態から、片方の手でハンドルを引き起こす



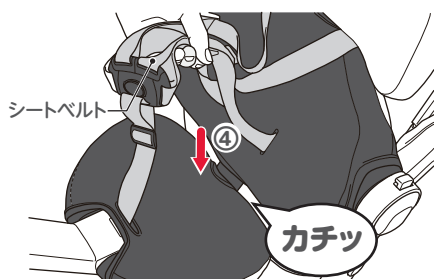
② ハンドルが起きてきたら、もう片方の手でフロントアームレストを引き起こす



③ ハンドルをカチッと音がするまで後方へ倒し、ロックさせる



④ シートベルトを持ち上げ、座席をカチッとまで押し込み、ロックさせる



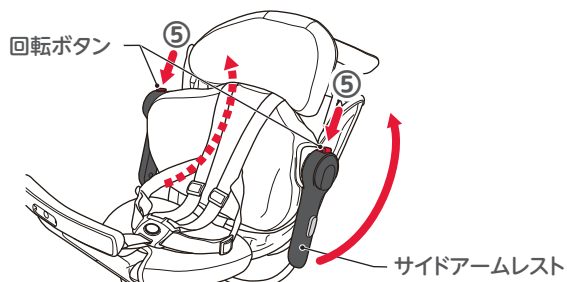
シートベルトが座席の下にはさまれないよう注意してください。

はさまれていると座席がロックしません。

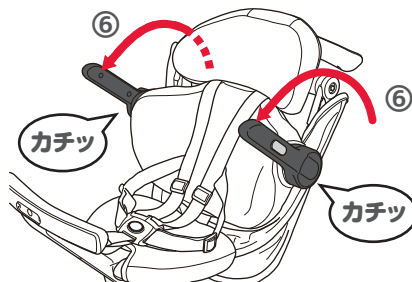


バギーを開いたあと、ハンドルを上下に動かしロックがかかっていることを必ず確認してください。ロックされていないと、バギーが急にたたまれたり、倒れたりして、転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

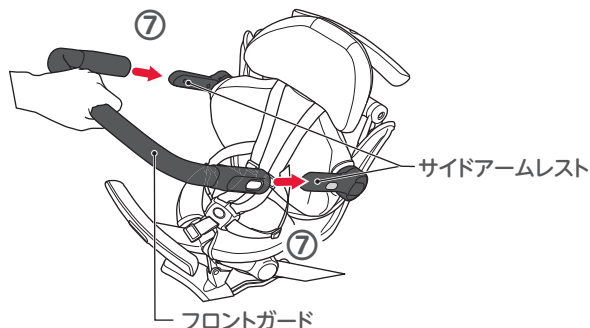
- ⑤ 回転ボタンを押しながらサイドアームレストを上方向に回転させ、(左右ともに行う)



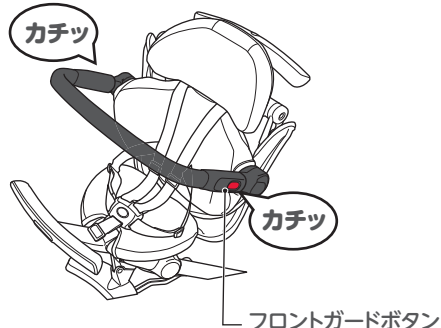
- ⑥ 前側でロックさせる



- ⑦ フロントガードを左右のサイドアームレストに挿し込み

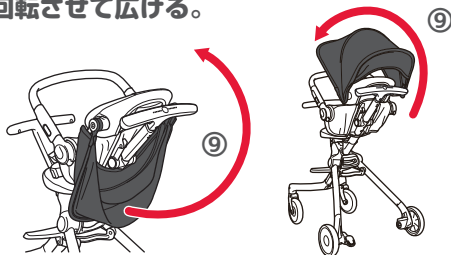


- ⑧ 左右ともフロントガードボタンにロックさせる



フロントガードを取り付けた後、確実にロックされているか引っぱって確認してください。
ロックが不完全ですとお子さまが転落するなど重大な事故につながるおそれがあります。

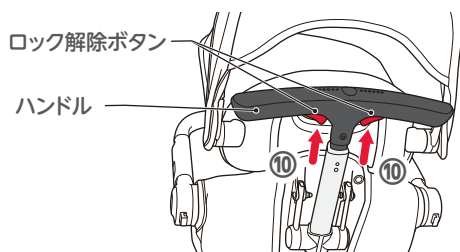
- ⑨ 幌を背もたれ後側から前方向に回転させて広げる。



ハンドルを伸ばしていると幌がハンドルに引っかかり開けません。
必ずハンドルを収納位置にして、幌を広げてください。



- ⑩ 左右のロック解除ボタンを同時に押し



- ⑪ ハンドルを引き伸ばして、ハンドルをロックさせる



必ずハンドルを押し引きして、確実にロックされていることを確認してください。
ロックされていないと、ハンドルが急に伸びたり縮んだりしてバランスを崩し、転倒するおそれがあります。

ハンドルの高さ調節方法

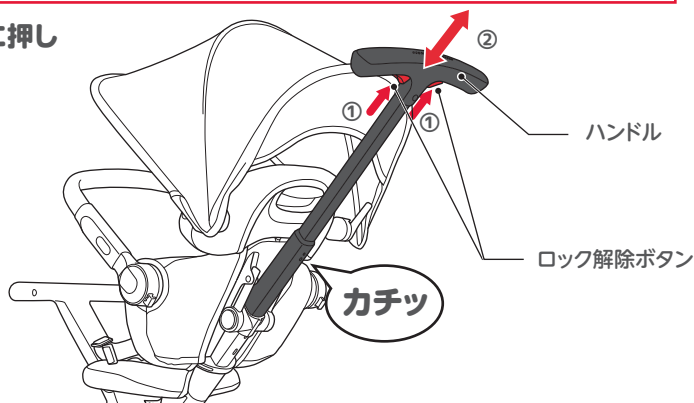
ハンドルは3段階に高さ調節ができます。使いやすい高さに調節してください。



- ・ バギーを押しながらハンドルの高さ調節を絶対にしないでください。
- ・ 必ず車輪ストッパーをロックして、ハンドルの高さ調節をしてください。車輪ストッパーをロックしないとバギーが不用意に動き転倒するおそれがあります。
- ・ 高さ調節後は、ハンドルを押し引きして確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと、ハンドルが急に伸びたり縮んだりしてバランスを崩し、転倒するおそれがあります。

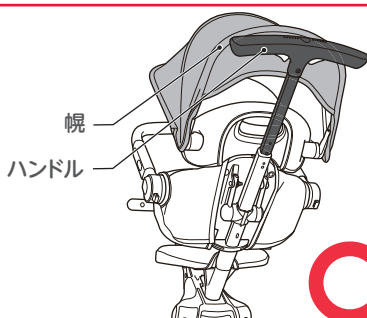
① 左右のロック解除ボタンを同時に押し

② ハンドルを伸ばして(縮めて)、使いやすい位置にロックさせる。

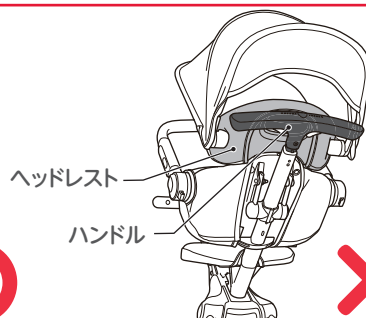


ハンドルは収納位置で
使用しないでください。
必ず伸ばして使用範囲
位置の3段階で使って
ください。

収納位置で使用すると、
バギーが急にたたまれ
て、転倒するおそれ
があります。



使用範囲位置
(幌の高さにハンドルがある状態)



ハンドル収納位置
(ヘッドレストの高さにハンドルがある状態)

車輪ストッパーの使いかた



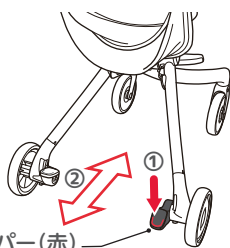
- ・ 車輪ストッパーを過信しないでください。ストッパーをかけていても動き出したり、転倒するおそれがあります。
- ・ お子さまを乗せたままバギーから離れないでください。
- ・ お子さまを乗せ降ろしするときは、必ずストッパーをかけてバギーが動かないことを確認してください。
- ・ バギーは空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。

バギーを停止させているときには、必ず車輪ストッパーのロックをかけてください。

車輪ストッパーをロックするとき

① 右側の車輪ストッパー(赤)
を押し下げてロックする。

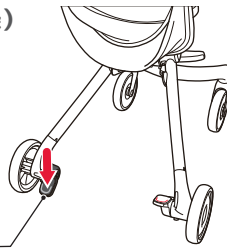
② バギーを軽く前後に動かして
ストッパーのロックがかか
っていることを確認する。



車輪ストッパー(赤)

車輪ストッパーを解除するとき

左側の車輪ストッパー(緑)
を押し下げる。



車輪ストッパー(緑)

シートベルト(股ベルト、腰ベルト、肩ベルト)の使いかた



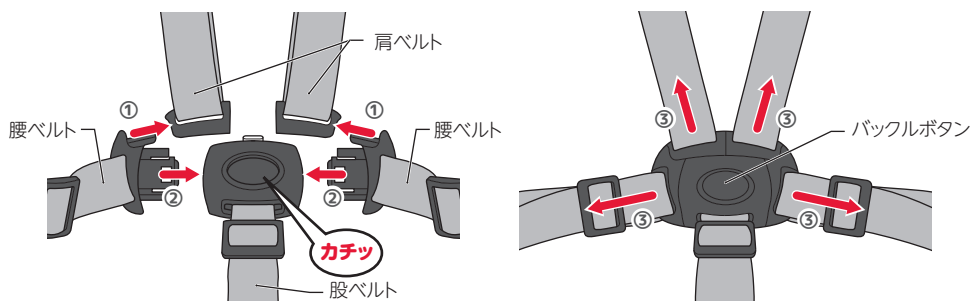
警告

- ・必ずすべてのシートベルトを締めて使用してください。また、ベルトにゆるみがないことを確認してください。締めずに使用したり、ベルトがゆるんでいると、お子さまが抜け出したり、落ちるおそれがあります。
- ・お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルトを締めていても立ち上がる場合があります。目を離さず、十分注意してご使用ください。
- ・シートベルトの長さは、お子さまの体にあわせて調節し、しっかりと締めてください。肩ベルトが長すぎる状態にしておくと、首に巻きつく危険があります。

※シートベルトとは、股ベルト、腰ベルト、肩ベルトの総称です。

シートベルトを締めるとき

- ① 肩ベルトバックルに腰ベルトバックルを左右それぞれ挿し込む。
- ② 腰ベルトバックルを股ベルトバックルに「カチッ」と音がするまで挿し込む。
- ③ 肩ベルト、腰ベルトを引っ張り外れないことを確認する。
- ④ お子さまにあわせて肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。



警告

- ・シートベルトが確実にロックされていることを確認してください。
- ・シートベルトを締める際、お子さまの指や手などがはさまれないよう注意してください。

シートベルトをはずすとき

バックルボタンを押して、それぞれのバックルをはずす。

シートベルトの調節のしかた

※肩ベルト、腰ベルト、股ベルトは全て調節のしかたは同じです。

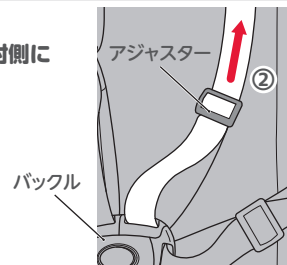
締める(短くする)とき

- ① アジャスターを持ち、ベルトをバックル側に引っ張る。



ゆるめる(長くする)とき

- ② アジャスターを持ち、ベルトをバックルの反対側に引っ張る。



背もたれ、ヘッドレストの使いかた



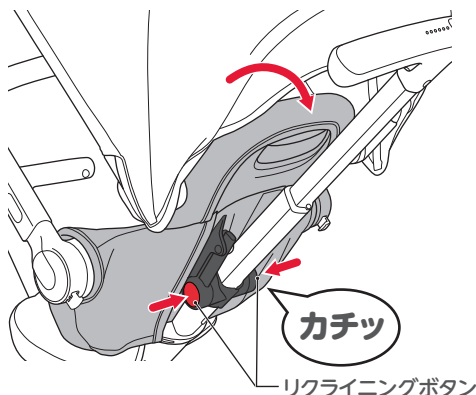
警告

- ・ バギーを押しながら背もたれ、ヘッドレストの操作をしないでください。非常に危険です。
- ・ 背もたれ、ヘッドレストの操作時は、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ・ お子さまを乗せたまま背もたれ、ヘッドレストを操作しないでください。
- ・ 背もたれ、ヘッドレストの操作後は、シートベルトを適切な長さに調節してください。

背もたれは2段階に角度調整ができます。お子さまが楽な姿勢になる位置で使用してください。

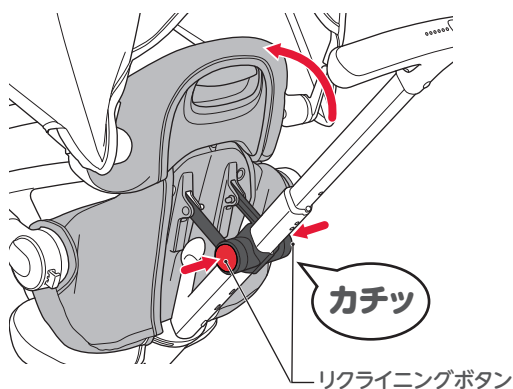
背もたれの倒しかた

左右のリクライニングボタンを同時に押しながら、背もたれを倒し、カチッとロックさせる。



背もたれの起こしかた

左右のリクライニングボタンを同時に押しながら、背もたれを起こし、カチッとロックさせる。



警告

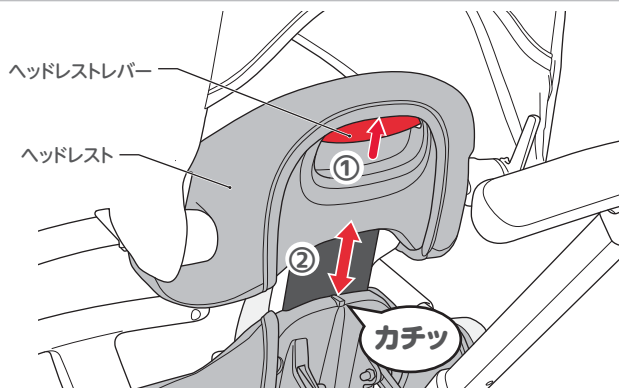
必ず背もたれを押し引きして、確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと、急に倒れたり起きたりしてお子さまがけがをするおそれがあります。

ヘッドレストは4段階に高さ調節ができます。お子さまが楽な姿勢になる位置で使用してください。

ヘッドレストの伸ばしかた、縮めかた

① ヘッドレストレバーを上にあげながら

② ヘッドレストを上げて(下げて)、カチッとロックさせる。



警告

必ずヘッドレストを押し引きして、確実にロックされていることを確認してください。ロックされていないと、急に伸びたり縮んだりしてお子さまの頭がはさまれたり、ベルトが緩んだりするおそれがあります。

フロントガードの使いかた



警告

- ・フロントガードに関係なく、お子さまを乗せるときには必ずシートベルトを締めてください。
- ・フロントガードはお子さまの抜け出しや立ち上がりを防止するものではありません。
- ・フロントガードボタンはお子さまには操作させないでください。落下などのおそれがあります。
- ・フロントガードを持ってバギーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードが抜け落ちるおそれがあります。



注意

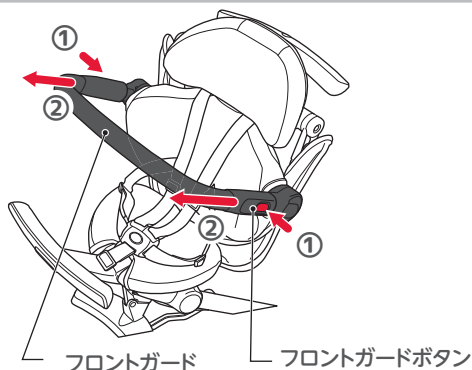
- ・フロントガードを引っばって使用したり、ふりまわしたりしないでください。破損やお子さまのケガの原因となります。
- ・フロントガードには過度の力を加えないでください。また、必要以上に広げたりしないでください。故障や破損の原因となります。

お願い

お子さまの月齢が小さいうちで、フロントガードの位置が高い場合は背もたれを起こして使用してください。※背もたれの使いかたは9ページ参照

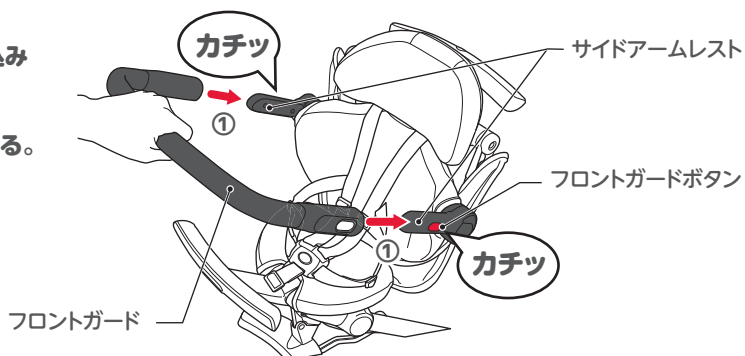
フロントガードを外すとき

- ① 左右のフロントガードボタンを押しながら
- ② フロントガードを前方向に引き抜く。



フロントガードを取り付けるとき

- ① フロントガードを左右のサイドアームレストに挿し込み
- ② フロントガードボタンがカチッというまでロックさせる。



警告

フロントガードを取り付けた後、確実にロックされているか引っばって確認してください。ロックが不完全ですとお子さまが転落するなど重大な事故につながるおそれがあります。



注意

- ・フロントガードを片側だけ外すことはできません。無理に片側だけ外すとフロントガードが破損します。
- ・フロントガードは左右同時に取り付けてください。その際、サイドアームレストは左右で角度を揃えてください。無理に取り付けるとアームレストが破損します。

幌の使いかた

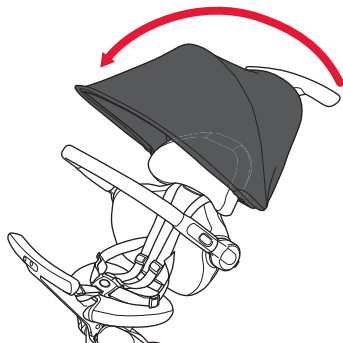


幌を開いたり折りたたんだりするときには、お子さまの指や手に注意し操作を行ってください。
指や手をはさんだりするおそれがあります。

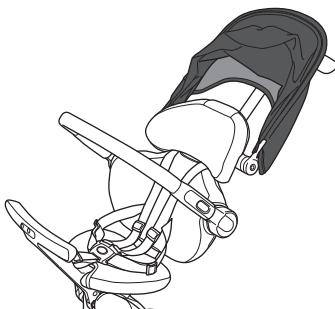


幌は日よけの役割をしますが、完全に日ざしを遮るものではありません。無理に引っばったり広げたりすると、生地がやぶれたり幌が破損したりするおそれがあります。

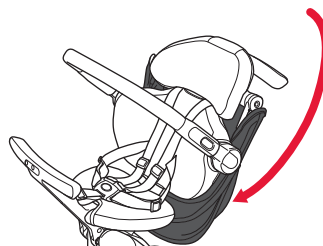
① 幌を使用するときは幌フレームを持ち、幌を前方に広げます。



② 幌を使わないときは、幌をたたみ後方にまとめます。



③ 幌をすぐに使わないときは、背もたれの後方にまとめることもできます。



幌を背もたれの後方にまとめるときは、ヘッドレストを最も下げた位置にし、ハンドルを収納位置まで縮めてから、幌を後方へ回転させてください。ヘッドレスト、ハンドルが幌と干渉し後方へ回転しません。

折りたたみかた



- ・お子さまを乗せたまま絶対に折りたたみ操作を行わないでください。重大な事故につながるおそれがあります。
- ・バギーを折りたたむときは、そばに人(特に小さいお子さま)を近づけずに行ってください。指や手をはさんだりするおそれがあります。
- ・お子さまにバギーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながるおそれがあります。

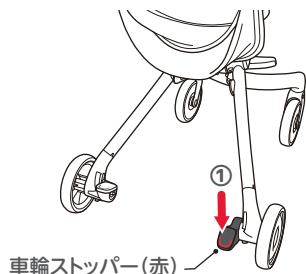


- ・何かに引っかかっていたり、はさみ込まれていたりする感じがある場合には、一度開いて原因を確認してください。無理に折りたたむと破損するおそれがあります。
- ・折りたたむときは、車輪ストッパーをロックしてください。
車輪がロックされていないと、バギーが不用意に動くことがあり危険です。
- ・本製品は、折りたたみ時のロック機能はありません。
保管や持ち運びの際は、不用意にバギーが開かないよう注意してください。

折りたたむ前に

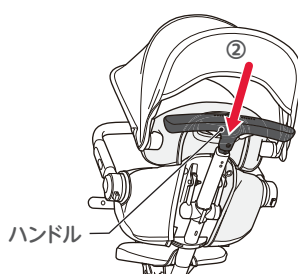
① 車輪ストッパーをロックする。

※車輪ストッパーの使いかたは7ページ参照



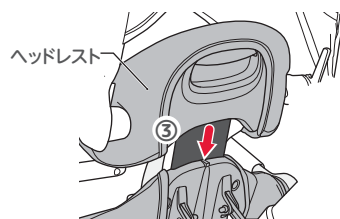
② ハンドルを収納位置に縮める。

※ハンドルの高さ調節方法は7ページ参照



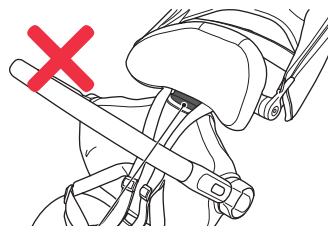
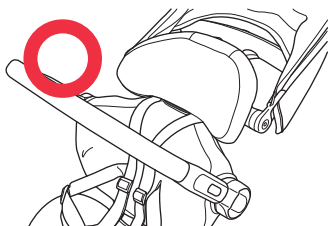
③ ヘッドレストを一番下までさげる。

※ヘッドレストの使いかたは9ページ参照



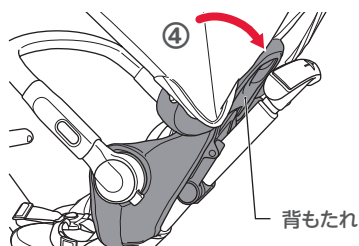
⚠ 注意

ヘッドレストは必ず最も下に下げた位置にしてください。さげないと折りたたみできません。



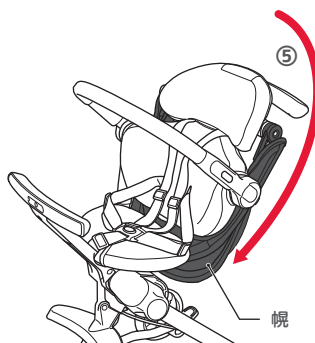
④ 背もたれを倒す。

※背もたれの使いかたは9ページ参照

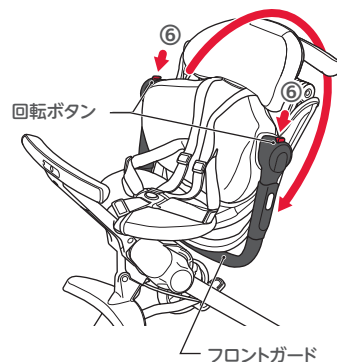


⑤ 幌を背もたれの後方にたたむ。

※幌の使いかたは11ページ参照



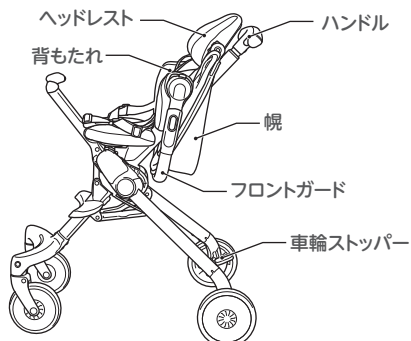
⑥ 左右の回転ボタンを押しながらフロントガードを背もたれ後方に回転させる。



⚠ 注意

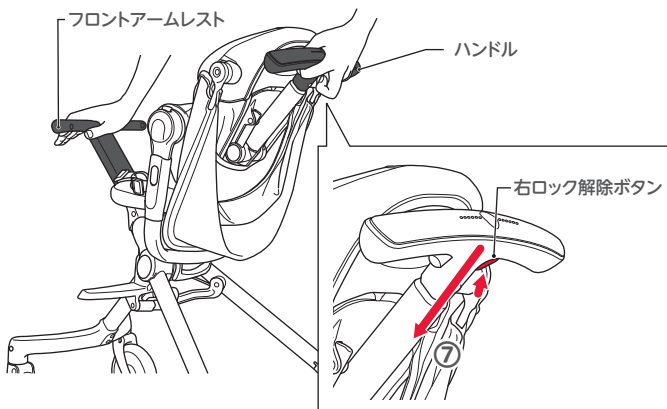
手順⑦以降の折りたたみ操作の前に、必ず手順①～⑥を確実に行ってください。

できていないと、部品が干渉するなどして正しく折りたたみできません。

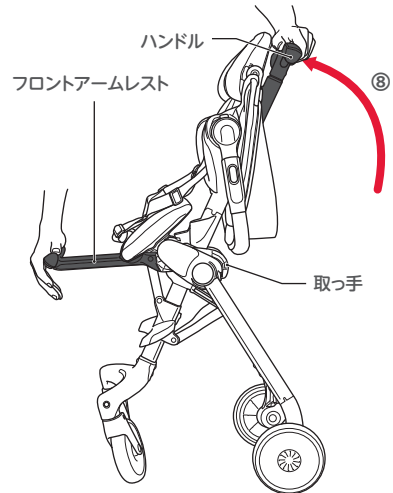


折りたたみ

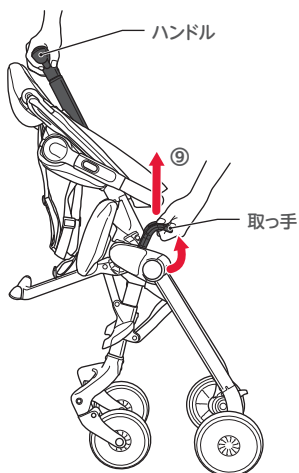
- ⑦ 片方の手でフロントアームレストを押さえ、もう片方の手で後方から見て右のロック解除ボタンを押しながらロックが外れるまでハンドルを下方へ押し込む。



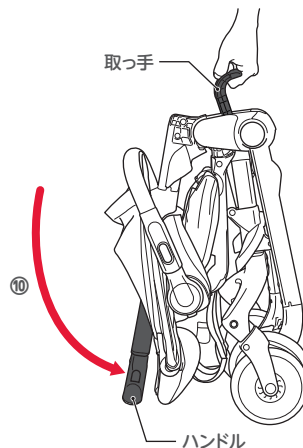
- ⑧ フロントアームレストを押さえたままハンドルを持ち上げるようにして、前方へ倒す。
※このときロック解除ボタンは離す。



- ⑨ フロントアームレストを押える手をはなしハンドルを持つ手を変え、片方の手でハンドルを支え、もう片方の手で取っ手を持ち上げる。

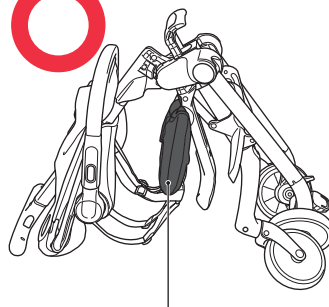


- ⑩ ハンドルを持つ手を離し取っ手をそのまま持ち上げて折りたたむ。

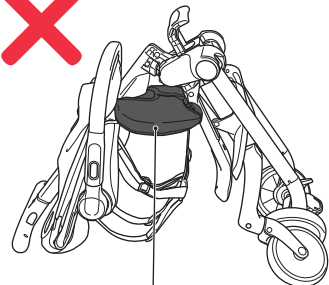


取っ手を持ち上げる際、座席のロックが外れて下にさがることを確認してください。

座席がロックされたままだと、正しく折りたたみできません。



座席のロックが外れた状態



座席がロックされ引っかった状態

日常のお手入れ

縫製品の清掃について



- ・プラスチック部分やホックなどでケガをしないように注意してください。
- ・製品の特性上、若干色落ち、色あせすることがあります。
- ・洗剤は、蛍光増白剤、漂白剤、酵素などを含まない中性洗剤を使用してください。事前に洗剤の注意書きを読んでお使いください。
- ・保管状態により、カビが発生することがあります。汚れたら清掃をし、清潔に保つよう心がけてください。

- 30℃以下の液温の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れをふき取ってください。
- 洗剤を使用して汚れを取った後は、水を含ませた布やスポンジで洗剤分が残らないように数回ふき取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分をふき取り、陰干ししてください。

車体の清掃について



車体の清掃には中性洗剤以外は使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

- 車輪やプラスチック部品および金属部品の汚れは、水を含ませよくしぼった布でふき取ります。汚れがひどいときは、薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませよくしぼった布でふき取り洗剤分が残らないようにします。

注油について



お子さまがなめる可能性が高いフロントガードなどには、油が付着しないようご注意ください。

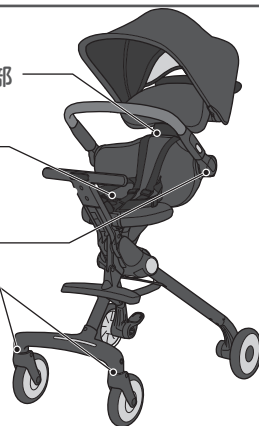
- きしみが発生したり、作動が鈍くなって注油が必要と思われる場合は、必ず潤滑油(シリコン系)を少量、注油してください。注油するときは、注油部分の泥や汚れをあらかじめふき取ってください。また、注油量が多すぎると、ほこりが付きやすく、かえって機能を低下させます。
- 右図に示す部分には注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。

× ヘッドレストの可動部

× シートベルトのバックル

× フロントガードの回転部、着脱部

× キャスター回転部



保管のしかた



本製品は、折りたたみ時のロック機能はありません。保管や持ち運びの際は、不用意にバギーが開かないよう注意してください。

- 直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合はカバーをかけることをおすすめします。

廃棄方法について

- お住まいの各自治体の指示に従い、処分・廃棄してください。

バギーの「標準使用期間」について

本製品の「標準使用期間」は、新規購入から使用対象月齢期間までの2年間です。
購入後2年間を経過した製品については、不測の事態に備えて使用を中止してください。

- 標準使用期間を超えてのご使用は、材料の経年劣化により、徐々に強度の低下や各部のガタツキが大きくなることで、本来の性能を果たせず危険を招くおそれがあります。
- 2人目のお子さま、他人への譲渡等によるご使用は、標準使用期間を超える場合がありますのでご注意ください。また、使用履歴が不明な製品の再利用はお控えください。
- 標準使用期間内においても、使用方法や環境、保管状態により故障する場合があります、この期間の品質を保証するものではありません。保証書に記載している保証期間を過ぎた場合は有償修理となります。

●製品の品質向上のため予告なく仕様を変更する場合があります。

この商品の品質で、お気づきの点がございましたら
お手数ですが右記までご連絡ください。

販売元
株式会社 西松屋チェーン
〒671-0218
兵庫県姫路市飾東町庄266 -1

【お客様相談窓口】
フリーダイヤル 0120-7-24028
受付時間 10:00～18:00
(土・日・祝日・弊社所定休日を除く)